

令和3年度 外国人児童生徒等に対する日本語指導研究協議会 記録 令和3年12月14日(火) 会場:玉村町立南中学校

公開授業「单元名:2学年国語『漢詩の風景』(光村図書)」

ねらい:現代語訳や写真を手掛かりに漢詩に親しむ。

つかむ



緊張をときほぐす
ゲームでウォームアップ

語彙力・発想力・自己表現力の
トレーニングも兼ねている

ゲームの中に写真説明の
タスクを取り入れ、
日本や中国の風景写真に
ついて対話
→本時の学習につなげる

視覚化による理解支援

追究する

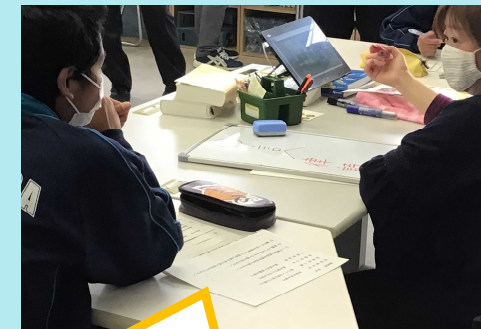


①教科書の漢詩を読み、読み方、形式を復習

安心感を生む学習形態での情意支援
写真等の視覚資料を用いた理解支援
スモールステップでの発問による理解支援

まとめる

- ・在籍学級での国語の授業に参加できそうかを確認→できそう
 - ・取り組んだ漢詩問題は、先輩も受けた高校入試問題だったことを確認
→学んだことが役立ちそう
- 学習意欲を刺激するとともに
進学への意識付けを促している



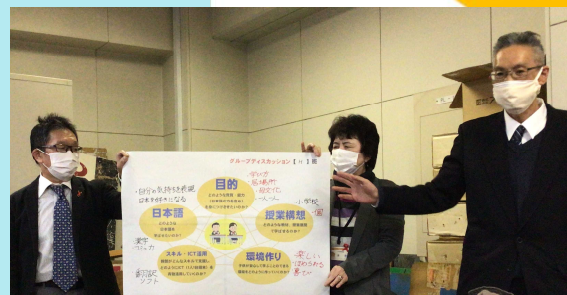
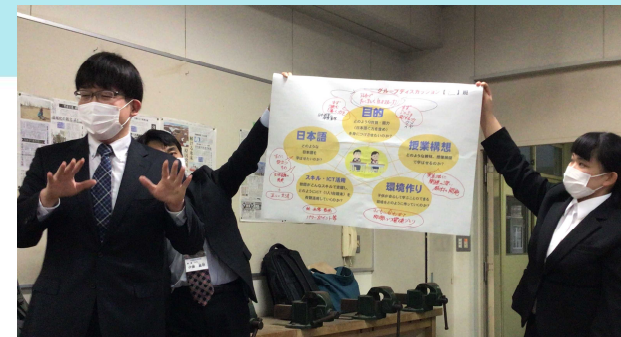
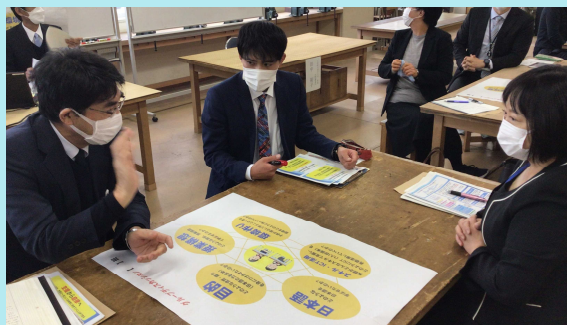
②初見の漢詩問題に取り組む

既習内容を振り返らせ
問題を解かせる自律支援

いくつかの問題を用意し、
自分で選択させ取り組ませる

全体会「シンポジウム」

テーマ：「義務教育卒業後を見据えた指導の在り方」



玉村町の取組についての説明のあと、上記の5つの視点をもとに、グループセッション、全体共有を行い、参加者全員でテーマを深めていきました。

様々な御意見を共有することができました。

書類等の理解力
(例:運転免許や
各種手続き等)

日本が好きに
なってほしい

日本でたくましく生きる力
日本文化・環境への適応力
自分の思いが伝えられる力

日本語で学ぶ力
SOS発信力

よりよい生活
のための
日本語指導

コミュニケーション能力

進路実現力

実生活に関連深い
教材の開発

受験対策

日本語検定
を目標に

在籍学級の
学びに活かせる
日本語指導

個別最適な学びの充実

学び合い
協働的な学び
先行学習

漢字 日本語

どのような
日本語を
学ばせたいのか?



授業構想

どのような教材、授業展開
で学ばせるのか?

視覚教材

教科学習言語
の理解

語彙力

読解力 書く力

正しい文法

日本人向け
異文化体験
(逆の立場に
なって考える)

スキル・ICT活用

教師がどんなスキルで支援し、
どのようにICT (1人1台端末) を
有効活用していくのか?

環境作り

子供が安心して学ぶことのできる
環境をどのように作っていくのか?

母語・母文化支援

支援員拡充

安心の場としての
日本語教室

端末を活用した
写真・イラスト・動画
の視覚支援

ICT活用による
キャリア学習

端末を文具や辞書の
変わりとして
いつでも使えるものに

居場所・関係性作り

入試制度改変 分からないといえる場
学校組織として 外部とのつながり
の支援体制 (国際交流協会等)

連携

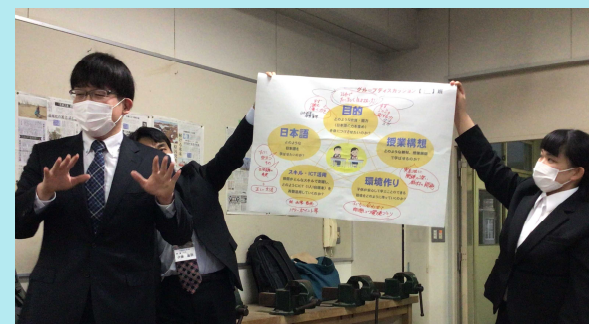
在籍学級が
安心の場に

高校進学後の
支援の充実



参加者の感想や意見等

シンポジウムが大変充実していた。
テーマ設定がよかった。



指導の工夫点についての説明とそれについての話し合いの時間があればよかった。

対象生徒がどのような過程で現在のレベルに至ったのかの詳しい情報や来日時から受験までの指導計画等が聞きたかった。

中学の学びにつなげるための小学校での指導の在り方が少し見えた気がした。

異校種の参加だったが、中学校には中学校の難しさがあるのだと知ることができた。

今回の研修内容を、現場の生徒や先生方の幸せに還元したい。

概念や大まかな意識に留まらずに、実際の現場の先生方の思いや実践方法を知りたかった。しかし参考になることが盛りだくさんだった。

日本語指導担当になったばかりの先生や生徒本人にも質問してみたいことがたくさんあった。

学習への意欲をもてずに進路も見えない生徒に対してどういう手立てがあるのかを知りたい。

資料でいただいた「教科と日本語の統合学習」について話が聞きたかった。

